

| 西 暦 | 年 号 | 記 事 |
|--------------|-----------------|---|
| 838 | 承和 5年 | 「続日本後記日」七月五日夜火を出し上津島の左右の海中焼いて炎野火の如し。 奈良にては遙か東南方に大爆音を聞こえ、それ以来雨のような砂、灰粉のようなものが降りやまず。 |
| 840 | 同 7年 | 「続日本後記」伊豆国賀茂郡に島を作り「上津島」となづく。 また豆州誌稿では仁明天皇記に伊豆国賀茂郡有造作島名、上津とあるによりて案ずるに神津は神造の意ならん。 三宅記には神々集まりて島々を焼き出し給う詮議をなしける故神集島と名付くと。 「伊豆国解日」九月乙未伊豆国日す賀茂郡造島あり本の名上津島、此島に阿波神坐す。是三島大社の本后なり、また物忌奈乃神坐す即ち前者御子なり云々。 |
| 1,159 | 平治 元年 | 源為朝は大島を治めるようになってから、三宅、新島、神津島、利島、御蔵島の五島をうちしたがえて数十艘の船を造り巡視する。 当時の伊豆諸島は伊豆の住人狩野茂光の領地でその代官が各島を治め年貢を取り立てたと言 う。 しかし、他島はともかく神津島に年貢を取り立てる程の住民がいたかどうかは詳でない。 |
| 1,165 | 永万 元年 | 為朝は三月大島から利島、新島、御蔵島、神津島をたずねて民情をしらべ各島民に対し、仁義、礼、智、信、孝、悌、忠の八つの道を説き、神津島字八の字沖から見付島（三宅島）に渡るという。 |
| 1,337 | 延元 3年 | 鎌倉管領の執事上杉憲顕始めて代官制度をしき島治機関を創設。 |
| 1,490 | 延徳 2年 | 延徳年間伊豆北条早雲此年諸島北条氏に属す。 |
| 1,504 ~20 | 永正 元年 // 17年 | 北条早雲が関東を領するに及んで本島も又その管下に属した。 |
| 1,558 ~70 | 永録 元年 ~ 13年 | 永録年間（戦国時代）には伊豆国に属したが以前北条氏の支配を受けている、又松江家の祖石田家在りて神に仕え且つ、島政を掌る。 |
| 1,612 | 慶長 17年 | 朝鮮婦人タイ邪教の為流罪、大島、新島、神津島と渡り死すという。（おたあジュリアについてはジュリア祭のしおり参照） |

| 西 暦 | 年 号 | 記 事 |
|-------------------|----------------|--|
| 1, 6 3 6 | 寛永 13年 | 神津島の統治年代で明らかなのは江戸時代に入ってからで三代将軍家光の時代である。つまり現在の松江家祖、石田因幡守が命ぜられて地役人となり神職を兼ねて島政を掌ったのが始めてである。 |
| 1, 6 3 9 | 寛永 16年 | 延命山濤響寺 地役人石田因幡守の代に秀誉休山和尚が下田の海善寺の末寺として開墓した浄土宗の寺である。 境内総面積約14,000㎡ この内墓地約1,700㎡含まる。なお現在の住職は、第28代瓜生静海氏である。 |
| 1, 6 7 0 | 寛文 10年 | 伊豆代官江川太郎左エ門に直属しその手代が派遣されて島を治めたが、この手代を島民は凌海役または御蔵奉行と呼んだという。 |
| 1, 6 7 2 | 寛文 12年 | 巡視があり、検地の結果賦課の制度が定められ、再び地役人を任じたが島の実状が明らかになるにつれ幕府は御給米制度を設けた。 記録によれば、この時の下付米は本島が五石六斗二合、伊豆六島は年間七十石であったという。 |
| 1, 6 8 9 | 元禄 2年 | 塩年貢上納を金納する額を数次にわたる出願の結果年貢塩は元禄二年以来金一両に六〇俵替の積りで代金納となった。 |
| 1, 6 9 1 | 同 4年 " 7年 | 下総不受不施の流罪人多し。 |
| 1, 7 0 7 | 宝永 4年 | 「弁財天録記」多幸湾の丸島頂上に祀る。いつの時代に多幸ヶ浜に移祀したか詳かでないが、安政六祀年十一月、伊助船、金次郎船の名を以て二基の献塔がある。 |
| 1, 7 0 4 ~ 1 6 | 宝永・正徳 年間 | この頃俗にポチ火事と称する未曾有の大火あり、全村大半灰燼に帰すという。 |
| 1, 7 1 6 ~ 3 5 | 享保 元年 ~ 20年 | 青木昆陽先生の記事中徳川幕府より下付の甘藷種貯蔵の法を知らず腐れたるもその後薩州人島に在りその貯蔵を教え云々とある。 (本島清水徳左エ門の先々代、丈丞なるもの漂流し、薩州藩地に漂着し、ひさ々その他の救助を受けその帰島の際甘藷を携さえ来たり爾来其耕作年々に開け遂に島民の常食となり凶年にも飢餓を免れるに至るをもって、その功勞を賞し山林を与えたりと。 |

| 西 暦 | 年 号 | 記 事 |
|----------------|----------------|---|
| 1,735 | 享保 20年 | 幕府大島に甘藷苗十俵を試植す（この時三宅島に甘藷伝来というも定かならず） 此年未曾有の凶年にして飢餓のため211人が死亡する。このうち幼い子供が104人死す。 |
| 1,738 | 元文 3年 | 地役人石田因幡守、12月此時、石田姓を松江に改めたと伝え、先姓石田因幡守は石田三成の後裔（こうえい）と伝えている。 |
| 1,747 | 延享 4年 | 大火あり全村ことごとく烏有に帰した（俗に下の沢火事という）。 |
| 1,753 | 宝暦 3年 | 伊豆諸島中戸口左の如し神津島 戸 145 男259 女291 計550諸島 戸合計2,056 男4,955 女5,732 合計10,687人 |
| 1,782 | 天明 2年 | 「七島巡見志」佐藤信行、吉川秀造の兩人により編集され、兩人2ヶ年に渡り七島を巡視調査した。一、家数 172軒 人数 九11人 男423人 女488人 |
| 1,785 | 天明 5年 | 三宅島流人僧日照神津島へ島替え（後同島にて大いに文字を広むという）。 |
| 1,797 | 寛政 9年 | 松江伊予守地役人となる（七年間） |
| 1,804 | 文化 元年 | 松江左京守地役人を継ぐ（十三年間）この頃から幕府は勘定奉行の下に、伊豆七島産物会所を江戸に置き島民に前金を貸して島の産物をここに集め卸人に入札させると言う一種の専売制度を設け明治維新までつづいた。 名主梅田源四郎 |
| 1,804 1,805 | 文化～安政 文化12年 | 日連宗の僧、日行、日照が流人として三宅島から転配され、寺小屋教育が始まる。 天文方高橋作左エ門門人永井甚右エ門及び伊能忠敬門人等三名巡島地図作成（伊豆七島及び 無人島図成る） |
| 1,868 | 慶応 4年 明治 元年 | 9月8日明治に改元 |
| 1,869 | 同 2年 | 六月蕪山県に属する。 |
| 1,870 | 同 3年 | 此年二月、あたかも飢饉にして生活難に堪えざる処より大島に出稼ぎ或るいは物品交易のため船出したが、突然の大暴風（南風）となりよべば答える大島差木地下において激浪のため惨死せりという。 この惨事で死亡せる者男女併せて36人という。 此の年中飢饉のため餓死した者146人その内幼児20人。 |

| 西 暦 | 年 号 | 記 事 |
|-------|-------|---|
| 1,871 | 明治 4年 | 引き続き飢饉のため餓死した者137人内幼児110人太政大臣三条実美は八月に至り封建的な専売組織であった「伊豆七島産物会所」の廃止を令し物産の売買を各自の自由にした。同時に島民ならびに本土民の渡海を許した。 11月14日新たに足柄県が設置されその所管に移された。 |
| 1,875 | 同 8年 | 静岡県の所管に移される。 |
| 1,878 | 同 10年 | 1月11日太政官布告第一号を以て東京府の管轄になり、戸長、島用掛、吏員を置いた。本島の人口、戸数、306戸 男597人 女844人 計1,441人 |
| 1,881 | 同 14年 | 伊豆七島に制度を布き島吏の職制を定め、戸長、島用掛けを廃止、地役人、名主、年寄り、及び書き役を置き、その事務所を島役所と称し、島は地役人、村は名主が所管した。 四月十三日本村小学校創立さる。この当時は校舎が狹隘であり延命山禱響寺の本堂を分教場に使用した。 |
| 1,886 | 同 19年 | 本島郵便の初め、八月時の地役人松江半之助が郵便集配請負人を命ぜられる。 |
| 1,891 | 同 24年 | 東京湾汽船株式会社と島司地役人により年度航海定期が協定された。 |
| 1,893 | 同 26年 | 本島に始めて警察官を置く。初代鹿児島県人肥後甚六なる人駐在。九月始めて医師広川雄二を雇入れ、十二月開業、村医の始め。 |
| 1,894 | 同 27年 | 島寄合いと言って島民総代四人名主一人年寄一人を以て組織された。この機関は現在の村議会と同じ性質のもので村政の決議機関として参与した。 本島の漁業は元禄年間以前に伊豆の国から移住した漁民により大いに開発されたと伝えられ 古くから鰹釣りを主業として文化年間（13年）文政（12年）に亘り最も盛況を極め黄金の時代でもあったと言う。 |
| 1,895 | 同 28年 | 明治28年8月21日、引綱漁業の許可を出願、許可を得て改良が加えられ現在の建切網漁業の基礎を築いたのが下の沢の6人組と言う（元「巾着網」とも言う）本村の漁業を現在 迄も繁栄させ、島の重要な産業として発展させた。 |

| 西 曆 | 年 号 | 記 事 |
|-------|----------------|---|
| 1,899 | 明治 32年 | 歳の瀬も押し迫った12月24日未曾有の大火あり。310余戸のうち僅かに一〇余戸を残し全村ことごとく焼失という。 |
| 1,901 | 同 34年 | 11月非常組（現在の消防団の前身）を設立。初代組頭松本由右エ門。 組員は18才から45才までの男子で組織された。 |
| 1,902 | 同 35年 | 明治32年12月の大火により焼失した小学校舎復旧（6月）開校、修業年限 尋常科四年、補習科三年、教師三名 就学児童数 男126人 女16人、校庭274坪、校舎78坪 |
| 1,903 | 同 36年 | 5月14日 本島漁業組合設置認可となる。 初代組合長松江半之助 組合員311人漁船81隻 |
| 1,906 | 同 39年 | 6月14日 庁舎落成す 平屋木造27坪 郵便集配請負制度廃止と同時に三等郵便局に昇格、初代局長松江半之助となる。 |
| 1,907 | 同 40年 | 本島戸数338戸 男958人 女1,095人 計2,053人 7月8日続いた長雨により字よたね 崩れにより死者16人（男9人、女7人）重傷者42人 家屋全壊31戸 半壊13戸という惨事あり、このこと天聴に達し救恤金500円が下賜され、又、各方面からの金品の寄贈は874円と記されている。俗に「ながれ」といわれる。 |
| 1,910 | 同 43年 | 簡易水道の議が起こり、字滝川より土管を以て誘水して神社境内を通り土管川（現在消防団第一分団詰所）下の沢に貯水池を設置した。この工費2カ年度に亘り合計金904円58銭を要した。 8月1日 島内道路元標設置（旧役場前角）、現在の郵便局の角 神木（かんき）生洲開さく工事入札、落札金1,257円18銭 |
| 1,912 | 同 45年 大正 元年 | 水害被災地砂防工事始まる。 氷庫建設、村内道路改修始まる。 架橋のこと。 「本島多年の問題にして頗る難工事なるを以て設計ならず」云々。 特筆すべきは土石の運搬は専ら女の労に帰したるの事とす。 橋名八千代橋、架橋設計は地役人新井直哉。その工費541円46銭7厘。 |

| 西 曆 | 年 号 | 記 事 |
|-------|-----------------|--|
| 1,926 | 大正 15年 昭和 元年 | 1月19日、簡易水道布設演習の目的で松戸工兵隊増田大尉以下3名神津丸で来島。簡易水道完成8月1日通水式を挙る。 5月 イギリス船ネーブルス号(7,000t)濃霧のため銭州岩礁で沈没。 |
| 1,927 | 同 2年 | 9月14日 神津丸大島差木地下で難破死亡2名、3名救助さる。松本鶴松村長、梅田甚之助収入役退任。 |
| 1,928 | 昭和 3年 | 二代村長に土谷喜代松氏、収入役に山田鶴松氏就任。 |
| 1,929 | 同 4年 | 10月10日 財団法人済生会神津島診療所開設。 |
| 1,930 | 同 5年 | 6月14日 東京府知事牛塚通太郎桐丸にて来島 |
| 1,934 | 同 9年 | 2月 林道開設に着手。 土谷喜代松村長退任。藤井松次郎氏村長に就任。 |
| 1,935 | 同 10年 | 4月 元地役人、郵便局長、漁業組合長等を歴任宮司松江半之助翁の葬儀、村葬と決定する 10月 実業補修学校青年訓練所を廃し、青年学校を開校。 |
| 1,936 | 同 11年 | 1月1日、2日、3日、7日、10日と遊覧船紅梅丸就航す。 9月10日、小学校南側校舎増築落成式を挙る。 12月24日 藤井松次郎村長辞任、前田源太郎氏村長に就任。 |
| 1,939 | 同 14年 | 4月 消防組を廃止警防団を結成する。 |
| 1,941 | 同 16年 | 小学校を国民学校に改称。 12月 大東亜戦争勃発。 |
| 1,942 | 同 17年 | 神津島村診療所新築落成(木造二階建) |
| 1,943 | 同 18年 | 診療所一棟スレート葺96坪8号、土地136坪 恩賜財団済生会に譲渡す。この代金33,280円也。7月1日東京府から東京 |
| 1,943 | 同 18年 | 7月 前田源太郎村長退職。石田彦治郎氏村長に就任。7月1日東京府が東京都に変わる。 12月 宇惣四郎地区を食料増産のため各区毎開墾に着手。 |
| 1,944 | 同 19年 | 電話開設、村内交換取扱い開始される。 警備道路(現在の都道多幸線)着工。 大東亜戦争日々か烈を加う警戒警報、空襲警報ひんぱん。 |

| 西 暦 | 年 号 | 記 事 |
|----------|--------|---|
| 1, 9 4 5 | 昭和 20年 | <p>2月27日 忠霊塔完成除幕式を挙す。</p> <p>3月14日 午前11時頃グラマン機襲来、折から恩馳島で出漁中の地元漁船を襲撃、漁船8隻被害、死者6名、負傷者5名の惨事あり。</p> <p>5月 暁部隊に便乗し縁故疎開者下田へ出発。</p> <p>6月12日 午前9時20分敵機襲来焼い弾投下、松江大家以下8戸全焼、神社薬王殿、矢大神門等焼失。</p> <p>6月15日 敵機襲来、漁船九隻炎上、五隻大破。7月1日 全村強制疎開開始される、西多摩郡方面。</p> <p>7月30日 敵機襲来、爆弾、焼い弾等にて1区36戸全焼、2名の犠牲者を出す。</p> <p>◎8月15日 詔勅降り大東亜戦争終結。</p> <p>疎開先の村民、9月中に全村民引揚す。</p> <p>9月17日 在郷軍人分会、義勇隊解散。</p> <p>11月11日 連合軍駆逐艦来航、米海兵17名上陸、島内視察、橋本屋旅館に一泊、翌12日帰艦出港せり。</p> |
| 1, 9 4 6 | 同 21年 | <p>4月 衆議院議員選挙執行さる。</p> <p>5月 神戸山石材採掘の契約を日産化学工業株式会社となす。</p> <p>12月 農地委員会設置さる。</p> <p>石田彦治郎村長退職す。</p> |
| 1, 9 4 7 | 同 22年 | <p>3月 連合軍命令により忠霊塔撤去。</p> <p>4月 学制改革により新制中学校を開校、国民学校を小学校に改称。</p> <p>六代村長に松江春之助氏就任。</p> <p>都議会議員菊池民一先生来島。</p> <p>7月 東京都知事安井誠一郎氏来島視察、随行者30名。</p> <p>8月 歯科診療所開業。</p> <p>制度改正により警防団を消防団に改称す。</p> |
| 1, 9 4 8 | 同 23年 | <p>3月 農業会を解散、農業協同組合設立。</p> <p>8月 大島管内各町村長会が開催された。</p> <p>医療行政に多年に亘り貢献した北川医師郷里に帰省す。</p> <p>日本脳炎発生、都から池田和雄防疫官来島。</p> <p>6. 3制施行に伴い中学校舎増築。</p> <p>農業調整委員会発足。</p> <p>世帯数460、 男1,231人、 女1,323人 計2,554人</p> |

| 西 曆 | 年 号 | 記 事 |
|-------|--------|--|
| 1,949 | 同 24年 | 4月1日 漁港であった神津島港が商港として指定される。 漁業会を廃止し、漁業協同組合が設立す。 |
| 1,950 | 同 25年 | 2月 失業対策事業開始さる。 祇苗島(拾町六反八畝二十五歩) 払下げ、この代金8,300円也。 高知県かつお船盛徳丸、恩馳島付近で座礁沈没乗組員31名犠牲となる。 11月 小学校創立70周年記念式典を行う。 |
| 1,951 | 昭和 26年 | 2月 自治功労者6名表彰す。 4月 松江春之助村長再任さる。 中学校第一校舎落成。 12月15日 神津島灯台竣工点灯開始す。 |
| 1,952 | 同 27年 | 東海汽船三郎丸沈没す。 海底有線電話開通す。 |
| 1,953 | 同 28年 | 5月16日 中学校第二校舎落成。 9月 台風13合により港内繫留中の峯尾丸、激浪のため沈没寸前、消防団員による必死の救助作業により9名の乗組員を救助せり、この功績により3名の団員紅綬褒章を賜る。(サルベージ船第二峯尾丸) |
| 1,954 | 同 29年 | 2月 神津島村主婦の会結成。 公営住宅6棟建設。 |
| 1,955 | 同 30年 | 松江春之助村長再任さる。 伊豆七島、国立公園に指定さる。 6月 頌徳碑二基建立除幕式挙行。 10月21日 三浦漁港が第一種漁港に指定される。 |
| 1,957 | 同 32年 | 4月 済生会神津島診療所の譲渡を受け、村営診療所として開始す。 文化財総合調査行われる(稲村先生、後藤先生)。 大島支庁管内町村長会開催される。 簡易水道事業起工す(第四水源地(浮山)) 2ヶ年継続事業。 警視庁音楽隊38名、巡視船「むろと」で来島す。 |

| 西 暦 | 年 号 | 記 事 |
|-------------|--------|---|
| 1,958 | 同 33年 | 3月 本島の神事かつお釣りが郷土芸能として東京都文化財に指定される。 阿波命神社々地が東京都旧跡に指定される。 国民健康保険制度施行される。 12月23日から東京電力昼夜送電を開始。 |
| 1,959 続き | 昭和 34年 | 3月 青年研修所竣工す。 4月10日 2ケ年に亘って施工した簡易水道竣工する。各戸に専用栓設置。 松江春之助村長退任、前田源太郎氏第七代村長に就任。 9月 神津島村交通安全協会設立。 皇太子殿下御成婚記念「都行造林」始まる。 3月 青年研修所竣工す。 |
| 1,960 | 同 35年 | 8月 懸案である都道編入について都建設局道路管理部長近藤龍一氏来島視察す。 世帯数516、男1,397人、女1,463人、計2,860人 |
| 1,961 | 同 36年 | 3月 国保診療所竣工。 前田源太郎村長退職、松本一氏第八代村長に就任。 6月15日 村道、長浜～多幸線8,110m 都道224号線に認定さる。 |
| 1,962 | 同 37年 | 4月 国有地天上山四十一町四反六畝四歩 金105,000円で払下げす。 神津沢第3号砂防堰堤竣工 都議会議員渡辺文政氏、都建設局河川部長一行18名来島、竣工式を挙行す。 新造船あじさい丸(600t) 神津島線に就航。 三浦漁港、多幸湾に分区の指定。 7月30日 東京都知事東龍太郎氏来島。 8月24日 三宅島雄山噴火、学童千葉県館山に疎開。 |
| 1,963 | 同 38年 | 4月 老人クラブ千鶴会設立する。 5月 小学校舎第一期工事竣工す。 7月 テレビ共聴組合設立する。 10月19日 三浦漁港起工式を字船戸ヶ沢で執行す。 地下水揚水工事成功完成、日量450t 全村に給水。 |

| 西 暦 | 年 号 | 記 事 |
|-------|-------|---|
| 1,964 | 同 39年 | <p>3月3日 神津小学校竣工落成式を挙る。</p> <p>4月1日 神津沢下流に潮見橋完成、渡り初め式を行う。七番地清水新平三夫婦渡り初めを行う。</p> <p>6月 疑似赤痢患者発生67名、これと前後し小光熱患者23名発生猩光熱患者23名発生、隔離、消毒、防疫に全力、死亡者なきは幸なり。</p> <p>11月 へき地集会室完成。 富士箱根伊豆国立公園に編入される。</p> |
| 1,965 | 同 40年 | <p>1月 大島町元町大火、災害見舞いに代表六名派遣。</p> <p>1月30日 神津島港口で整運丸座礁沈没、行方不明3人。</p> <p>4月 松本村長無投票で再任。 観光協会設立される。</p> <p>6月から地震しきり、12月までの一年間に記録されたもの311回、有感地震（震度1～5程度）。</p> <p>11月 頻発地震調査のため気象庁諏訪火山調査官一行3名来島。取材のためNHK、以下各テレビ、ラジオ新聞等取材班来島。海上自衛隊、警視庁、海上保安庁、調査に来島。警視庁は緊急無線機を駐在所に設置定時通信開始。 神津島村防災計画、臨時災害対策本部要綱を定める。 観光客多くなる。一ケ年の上陸人員8,956人。</p> |
| 1,966 | 同 41年 | <p>都建設ロッジ、多幸（榎ヶ沢）に竣工開所式実施。 老人クラブ千歳会発足。 学校給食センター火入れ式を行う、学校給食開始。</p> <p>9月 保育園完成開園式を行う。多幸ロッジに電話開通。地震しきり、字面房にヘリポート完成。</p> <p>都財務局長近藤龍一氏他6名、都関根総務局長来島視察。 年の瀬 稲荷丸遭難行方不明。土谷甚次郎一家3名悲惨なり。</p> |
| 1,967 | 同 42年 | <p>7月 第20回伊豆七島青年大会本村で開催される。</p> <p>東京都知事美濃部亮吉氏、橋本広報室長、横田総務局長、玉井港湾局長一行視察の為来島、小学校講堂で地元代表と対話集会を開催す。</p> |
| 1,968 | 同 43年 | <p>飛行場建設用地調査始まる。</p> <p>農道面房焼山線初めてコンクリート舗装が認められ、1千万円で施工。</p> <p>ごみし尿処理委託業務開始す（バキュームカー購入）</p> <p>7月 第二ロッジ新築落成す、都営便所、炊事舎、各キャンプ場に設置される。</p> |

| | | |
|-------|-------|---|
| | | <p>10月23日 神津島明治百年記念式典、行事、事業盛大に執行される。表彰条例による自治功労者その他表彰者は22名。</p> <p>12月16日 東京都と離島を結ぶ行政無線電話開設され、その完成を祝い美濃部都知事通話開始に第一声を挨拶する。</p> <p>観光客一ケ年の降客人員 39,966人。</p> |
| 1,969 | 同 44年 | <p>三浦漁港昇格</p> <p>多年に亘る陳情運動による悲願が実を結び昭和44年2月28日農林省告示第245号をもって三浦漁港が第四種漁港に昇格す。</p> <p>明治百年記念事業として施工された、千歳橋完成 渡橋式は二番地松江音吉家三夫婦渡り初めをなす</p> |

| 西 暦 | 年 号 | 記 事 |
|-------|-------|--|
| 1,970 | 同 45年 | <p>畑地灌既用水井試掘（字深井道）さく泉80m、800t余の豊富な水量を得た。</p> <p>3月 福祉センター完成、社会福祉に大いに貢献する。</p> <p>鉄筋コンクリート二階建、面積534.8㎡(161.7坪)、工費27,063千円</p> <p>大島支庁神津島出張所新庁舎落成。</p> <p>5月 第一回ジュリア祭を執行する。参加者400名。</p> <p>7月 神津島無線中継所が完成する。（将来ダイヤル式通話をめざし施設されたもの）</p> <p>神津島空港設置促進協議会を設立する。</p> <p>観光人口一ケ年間 降客66,971人いよいよ本格的夏期観光始まる。</p> |
| 1,971 | 同 46年 | <p>1月10日 プラスチック漁船進水漁船は高速船に変わり行く。</p> <p>1月19日 都議会住宅港湾委員会一行本島視察に来島。</p> <p>2月12日 村議会第一回臨時会に於て議員定数を四名減少の条例が議員提案され可決、4月執行される村議会議員選挙から定員12名となる。</p> <p>3月26日午後3時、待望の電話の半自動方式による即時通話開始す。</p> <p>3月 消防団第三分団詰所、貯水槽完成。</p> <p>4月 都道224号線の神津島港、三浦漁港間の改修がほぼ終わり潮見橋下に「なぎさ橋」が完成す（延長24m 幅員7.5m）</p> <p>5月 第二回ジュリア祭が盛会裡に終わる。</p> <p>中学校体育館完成落成式執行さる。</p> <p>農業用水深井道より焼山への送水成功す。</p> |

| | | |
|-------|-------|--|
| | | <p>7月12日 たちばな丸 (1,800 t) 神津島港岸壁に接岸、接岸式典盛大に挙行政る。</p> <p>8月2日 観光客の傷害致死事件発生、これが犯人をめぐり、恐喝、島八分問題となり、テレビ、新聞などで報道され、これが汚名の名譽挽回に全力を尽くす。</p> <p>第一回村民運動会開催す。</p> |
| 1,972 | 同 47年 | <p>3月 激増する観光客に対処し、島内治安確保のため要望してきた警視庁新島警察署警部補派出所設置さる。初代警部補鈴木 宏</p> <p>4月9日 20歳数年来陳情運動を続けてきた都立高校が全日制で神津高等学校として開設され60名が入学許可 (悲願なる)</p> <p>6月23日 多年の懸案であった庁舎の改築が金比羅様西側に移転完成、近代的庁舎誕生す。</p> <p>鉄筋コンクリート二階建、727.3m²、事業費 53,368千円</p> <p>7月 都道なぎさ橋に交通安全信号機が設置される。</p> |

| 西 暦 | 年 号 | 記 事 |
|-----------------|-----------------|--|
| 1,972 前ページ続き | 同 47年 前ページ続き | <p>東電発電所火災発生、観光シーズン中の給水支障、湧泉水の重要性を再認識す。</p> <p>10月23日 「おたあジュリア故国に帰る」、ジュリアの墓土をもって韓国親善訪問団出発す。(NHKカメラレポート取材放映さる)</p> <p>小学校体育館館成す。</p> |
| 1,973 | 同 48年 | <p>1月 テレビ共聴施設、自主放送施設の入札執行、古河電工落札建設に着工。</p> <p>5月20日 テレビ共聴施設、自主放送施設完成開局式典を行う。本式典に都から船橋副知事、並びに赤羽総務局長出席下さる。第二チャンネルは副知事の祝辞を放映、村の広報は画期的な飛躍となる。</p> <p>同日 都立神津高等学校新校舎落成式が挙行政された。</p> <p>鉄筋コンクリート三階建 延面積1,688m²。</p> <p>6月 東京都田坂財務局長一行九名行政視察に来島す。</p> <p>7月2日 簡易水道のメーター取り付け完成、本日より計量制実施。</p> |
| 1,974 | 同 49年 | <p>5月19日 第五回ジュリア祭執行さる。</p> <p>同 21日 警視庁三井副総監島内視察す。</p> <p>6月15日 美濃部東京都知事、港湾局長、労働局長以下10名ヘリコプターで来島、公共施設を視察。</p> <p>6月26日 カトレア丸 (2,200 t) 夏季熱海航路の試験就航をす。</p> <p>7月3日 神津中学校新築工事入札執行す。落札者 東亜建設共同企業体</p> <p>7月13日 熱海航路開始 (夏季のみ)</p> |

| | | |
|-------|-------|---|
| 1,975 | 同 50年 | <p>8月15日 公明党鈴切康雄代議士来島空港その他公共施設を視察す。</p> <p>観光人口 一ケ年間来島数89,596人。</p> <p>3月5日 老人福祉館(よたね会館)新築落成式を執行す。</p> <p>3月22日 神津中学校舎、体育館新築落成式を執行す。 校舎、鉄筋コンクリート三階建1,553㎡ 体育館、鉄骨造り 643.5㎡ 整地工事その他で総額390,493千円を投資す。</p> <p>4月21日 財務局用地部長来島、念願の空港予定地買収の測量開始される。 物忌奈神社拜殿新築落成せり。</p> <p>6月21日 都議会住宅港湾委員会一行行政視察に来島す。</p> <p>8月28日 空港用地買収契約今日から始まる。11月 電話が全自動ダイヤル化。</p> |
|-------|-------|---|

| 西 暦 | 年 号 | 記 事 |
|-------|-------|--|
| 1,976 | 同 51年 | <p>2月5日、4月14日 会計検査院による第二次農業構造改善事業、離島振興事業効果調査等の検査あり、二次構は工事遅延のため叱声をうく。</p> <p>5月25日 焼却炉完成火入れ式を行う。環境衛生に多大の効果あり。 10t炉 建設費 110,000千円</p> <p>6月12日 漁業協同組合の漁協センター完成す。</p> <p>10月14日 ジュリア讚美日韓親善婦人交歓団13名韓国へ向け出発す。24日帰島せりと畜場完成す。</p> |
| 1,977 | 同 52年 | <p>3月9日 やよい橋竣工渡橋式を行う。 橋名入選者 土谷定吉氏 渡り初め 石野田喜平家三夫婦</p> <p>3月10日 神津島商工会設立総会を福祉センターで行う。4月1日より業務開始さる。</p> <p>6月29日 三浦漁港建設用ケーソンヤード東京港より曳航、午前一時多幸湾に無事到着</p> <p>8月15日 第33回目の終戦記念日に濤響寺境内へ、戦没者、戦災死者の慰霊塔を建設除幕式並びに法要を行い戦没者の霊を慰む。</p> <p>11月10日 中学校歌作曲の団伊玖磨先生来島記念講演を行う。</p> <p>4月 松本村長 5選村長に就任。 南駐在所完成。</p> |

| | | |
|--|--|--|
| | | <p>1月11日 伊豆諸島東京都移管百年記念式典執行す。 郷土資料館開館す。 同日、神津島村の紋章を定め告示す。</p> <p>紋章の意義</p> <p>この紋章は、溢れる太陽の光と豊かなみどり、恵まれた水源、そして黒潮の流れる神津島の躍進発展を表現するものである。</p> <p>「こうづ」の「こ」の字を黒潮と豊かな水の流れる如く図案化し、円が構成する海洋と伊豆諸島を表した中央にこれを配し神津島が永遠の平和の中で希求するその親和と団結及び将来の伸展を象徴する。</p> <p>この紋章を定めるにあたっては、広く村民から公募し25名の審査員により厳正な審査のもとに、特選となった図案を専門家により多少の修正を加えたもの。</p> <p>入選者 特選 神津高校教員 室橋英治氏</p> |
|--|--|--|

| 西 暦 | 年 号 | 記 事 |
|-------|--------|--|
| 1,978 | 昭和 53年 | <p>2月24日 午前5時40分頃山田はん宅（旧山下館）から出火、全焼七棟、半焼二棟、近年にない失火事故となり全戸から募金し救援を行った。</p> <p>3月18日 伊豆諸島東京都移管百年祭が日比谷公会堂において開催され、国や都関係者、各島関係者多数の出席を得、盛大に式典が行われ、更に伊豆諸島の郷土芸能が披露された。</p> <p>4月1日 衆議院議員鈴木康雄先生来島、港湾、漁港、並びに空港予定地を視察す。</p> <p>7月18日 都議会警務消防委員ヘリコプターで来島、委員会を開催、島内視察、同日帰京した。</p> <p>8月20日 武道館落成式を執行、防衛大学校長（元警視總監）土田國保先生を名誉館長に 推戴、出席を得て盛大に執行。</p> <p>11月24日 警視庁安藤第一方面本部長、島部巡視あり。</p> |
| 1,979 | 同 54年 | <p>4月8日 東京都知事選挙投票日、鈴木俊一氏当選。</p> <p>4月22日 神津島村議会議員選挙投票が行われる。</p> <p>5月20日 第10回ジュリア祭盛大に開催される。</p> <p>5月26日 天神橋完成渡橋式を行う。</p> <p>7月4日 佐久市 神津武士市長他神津同族一行43名来島、佐久市と神津島村の友好記念碑除幕式を行う。</p> <p>7月17日 神津善行氏来島、テレビ取材、午後8時より福祉センターで記念講演をす。</p> |

| | | |
|-------|-------|--|
| | | <p>10月19日 台風20号接近により暴風雨、高波のため被害甚大なり。</p> <p>港湾、漁業施設、道路他被害金額 392,710千円</p> <p>10月28日 第9回村民大運動会親子分団リレーで第二分団が初の優勝をかざる。</p> |
| 1,980 | 同 55年 | <p>3月11日 鈴木敏夫大島支庁長、土木課長来島視察。</p> <p>4月3日 都議会労働経済委員会が本村で開催され、委員14名、局長以下都幹部13名、一行27名、ヘリコプターで来島島内を視察即日帰京す。</p> <p>4月28日 都衛生局長一行来島、島内視察。</p> <p>5月10日 衆議院議員鈴木先生来島、福祉センターで漁民との懇談会を開く。</p> <p>6月5日 マイタウン構想調査委員一行27名、ヘリコプターで来島、島内有志、住民と懇談十六時離島。</p> <p>6月22日 衆参両院議員選挙投票が行われる。</p> <p>7月9日 神津島空港整備促進陳情団一行出発。</p> |

| 西 暦 | 年 号 | 記 事 |
|-------------|--------|---|
| 1,980 続き | 昭和 55年 | <p>10月26日 第10回村民大運動会開催、親子分団リレー今年も第二分団優勝。</p> |
| 1,981 | 同 56年 | <p>2月15日 村有土地(ついで)に居住の一棟、4世帯、出火により全焼水上貞雄氏焼死す</p> <p>3月2日 (1月30日第一回)三浦漁港第七次整備計画について、離島港湾部計画課長、担当係官来島、村長以下幹部、議員、漁業関係者多数と協議をなす。</p> <p>3月7日 神津小学校開校百周年記念式典を盛大に行なった。 中村メイ子作詩、神津善行作曲、神津小讃歌発表披露さる。</p> <p>4月19日 神津島村長選挙 激戦の結果 佐藤治雄氏当選(803票)</p> <p>5月6日 国土庁離島振興課児玉課長来島、島内視察。</p> <p>7月7日 都議会議員選挙投票が行われた。 投票結果 峰元氏当選す。</p> <p>8月13日 港湾局 小林良久技監来島、島内施設を視察し式根島へ渡る。</p> <p>8月26日 衆議院議員鈴木先生来島視察。</p> <p>10月13日 都議会建設清掃委員会本村で開催、島内視察行政へりて離島す。</p> <p>10月25日 第11回村民大運動会を開催、親子分団リレー第二分団3年連続優勝す。</p> <p>11月6日 都立神津高校10周年記念式典が行われた。</p> |

| | | |
|-------|-------|---|
| | | <p>11月17日 都議会住宅港湾委員会本村で開催、島内視察す。</p> <p>11月19日 三多摩島嶼対策室長高橋務氏来島、島内視察す。</p> |
| 1,982 | 同 57年 | <p>4月10日 都議会議員高橋一郎先生本田航空ヘリコプターで来島。</p> <p>4月17日 都議会議員三宅、園部両先生来島。</p> <p>5月14日 都港湾局宮田次長来島、船客待合所落成式が執り行なわれる。</p> <p>6月15日 都議会議員峰元先生、三多摩島嶼対策室高橋室長、企画報道室大村副参事、福永副参事、小笠原地方課長、鈴木正夫大島支庁長一行来島、役場会議室において離島の諸問題について意見交換会を開催す。</p> <p>6月16日 スポーツ愛好者から強く望まれていた「多目的広場」榎ヶ沢に完成竣功式を行った。広場の面積 9,960㎡(芝張り) 事業費66,061千円</p> <p>8月8日 土田名誉館長来島、武道館において豆剣士に指導をされた。防衛大学ヨット部来島。</p> |

| 西 暦 | 年 号 | 記 事 |
|-------------|--------|--|
| 1,982 続き | 昭和 57年 | <p>8月14日 観光人口最大ピーク、滞在客7,794人</p> <p>8月17日 神津島港の接岸堤、同時二隻着岸す。ふりいじあ丸、さくら丸。</p> <p>9月10日 伊豆諸島、島嶼町村職員球技大会が開催された。</p> <p>9月14日 神津島開発総合センター建設工事の入札を執行。五洋建設、南島建設のジョイントにより落札。落札金額 423,000千円。</p> <p>10月26日 運輸省港湾局計画課対馬専門官一行五名来島、神津島港を視察、即日式根島へ渡る。</p> <p>11月13日 衆議院議員鈴切先生来島、島内視察。</p> <p>11月15日 衆議院議員上田哲先生、都議会議員西浜先生来島、島内視察、議会議員との懇談会、講演会等を開催す。</p> |
| 1,983 | 同 58年 | <p>2月26日 静岡県下田市市長一行来島、遊漁船に係る協議を漁協、渡船組合代表と行う。</p> <p>4月2日 埼玉県戸田、蕨、川口、三市青少年の船一行来島(430名)島の体験、子供間の交流を深め三日間の日程で社会勉強す。</p> <p>4月10日 東京都知事選挙投票が行われる。鈴木俊一知事当選す。</p> <p>4月24日 村議会議員選挙投票が行われる。</p> <p>5月8日 衆議院議員大内啓伍先生来島、議会議員、団体長等と懇談、島内視察、時局講演等を行う。</p> <p>5月27日 島嶼青年大会、本日より三日間のスケジュールで開</p> |

| | | |
|--|--|---|
| | | <p>催された。</p> <p>6月10日 神津島港大型ケーソン据え付けされる。</p> <p>7月10日 少年柔剣道四島（利島、新島、式根島、神津島）大会が開催された。</p> <p>8月18日 台風五号の接近により、14日から四日間に亘り船便欠航、食糧不足となるも本日ようやく就航、臨時便はまゆう丸を含め、東京、熱海、下田へ輸送、5,700人よ離島せり。</p> <p>9月6日 二ケ年の継続事業で建設した神津島開発総合センターが完成。 東京都有田行政部長、多摩島嶼対策室振興課長、鈴木正夫大島支庁長ほか地元多数来賓の出席を得て盛大に落成式を行った。</p> <p>施設のあらまし 所在地 神津島村1761番地 敷地面積 4,302.36㎡（所有地借用）</p> |
|--|--|---|

| 西 暦 | 年 号 | 記 事 |
|-----------------|--------|---|
| 1,983 前ページ続き | 昭和 58年 | <p>建物面積 1,214.7㎡ 一階 1,024.9㎡ 二階 189.8㎡</p> <p>構 造 鉄筋コンクリート二階建（冷暖房施設完備） 工 期 昭和57年9月25日（起工） 昭和58年7月23日（竣工）</p> <p>事業費 439,410千円</p> <p>財源内訳 国庫補助金 68,863千円 都 補 助 金 34,432千円 起債（辺地債）136,000千円 基 金 10,000千円 一 般 財 源 189,315千円 （内、都振興交付金147,300千円）</p> <p>附帯施設（テニスコート）14,750千円 備品費等 15,000千円</p> <p>総 額 469,160千円</p> <p>開発総合センターの完成記念に静岡県浜松市、関嘉之吉氏よりピアノ一台、図書等（約百万円相当品）が寄贈された。</p> <p>9月13日 都議会住宅港湾委員会が本村で開会され、村長は島の概要説明と要望を行った 一行は港湾、漁港、空港予定地を視察、同日ヘリコプターで離島す。</p> <p>10月3日 三宅島雄山噴火せり。この噴火により阿古部落全滅と聞く。</p> |

| | | |
|-------|-------|---|
| | | <p>10月4日 午前5時、漁船を備船、村長、建設課長、消防団幹部、状況把握と救護のため三宅島へ向かう。正午帰村、被害甚大なり。</p> <p>10月5日 各区長、団体長を招集、義援金募集の協議をなす。</p> <p>10月7日 救援物資、富士丸で三宅島へ輸送す。</p> <p>10月19日 芝税務署長一行三名来島、島内視察す。</p> <p>11月23日 港湾、漁港整備促進の陳情運動に助役以下一行8名出発す。</p> <p>陳情先 都港湾局長、技監、離島港湾部長、各課長、都議会議長他、国土庁、運輸省、水産庁、二区選出衆議院議員の各先生。</p> <p>12月18日 衆議院議員選挙投票行われる。</p> |
| 1,984 | 同 59年 | <p>3月31日 三市青少年の船今年も430名来島、三日間の研修を行った。</p> |

| 西 暦 | 年 号 | 記 事 |
|-------|--------|--|
| 1,984 | 昭和 59年 | <p>5月20日 第15回ジュリア祭執行さる。開発センターでジュリア資料展、夜、中学校体育館で讚美の夕べ、日韓親善芸能大会を開催。</p> <p>6月4日 衆議院議員鈴切先生来島、公共施設を視察。</p> <p>6月19日 多摩島嶼対策部赤木部長、大島支庁長一行4名来島、島内視察。</p> <p>7月10日 衆議院議員大内啓伍先生来島、島内視察。</p> <p>8月1日 御輿、子供御輿共に賑やかに渡御。</p> <p>9月3日 鈴木都知事、行政ヘリコプターで来島 随行者 大森行政部長、赤木対策部長、石橋地方課長、横山広報担当副主幹、佐藤離島港湾部長、大島支庁長、他各課長、 都議會議員峰元先生、 プレス七名 村長、神津島村の概要説明、大島支庁長、管内概要説明、島内各施設を視察、12時50分から村民代表との懇談会、この折り、空港建設については新島について66年完成を目指し整備を図る意の回答あり。 15時45分離島す。</p> <p>9月18日 懸案であった国保診療所、保健センター併設の建設工事入札を執行、清水建設、稲久土木のジョイントで落札 事業費 247,470千円</p> <p>10月27日 島嶼PTA連合会神津島大会が開催され、各分科会</p> |

| | | |
|-------|-------|---|
| | | に別れて研修、二日間の成果を発表。29日各島それぞれ離島す。 |
| 1,985 | 同 60年 | <p>1月18日 都議会議員峰元先生来島す。</p> <p>3月6日 かねて建設中の神津島村防災行政無線が完成、本日開局す。</p> <p>従来の放送施設を廃止し、同報系による村内各所のスピーカーと各戸に戸別受信器を設置し、屋外と屋内の両方で緊急一斉放送やお知らせができるように改善整備す。</p> <p>事業費 83,290千円</p> <p>国の補助金 20,858千円</p> <p>財源 起 債 30,000千円</p> <p>一般財源 32,432千円</p> <p>(内、都、振興交付金 23,000千円)</p> |

| 西 暦 | 年 号 | 記 事 |
|-----------------|-------|--|
| 1,985 前ページ続き | 昭和60年 | <p>3月18日 参議院議員吉村眞事先生(元運輸省港湾局長)来島、港湾、空港予定地を視察。夜福祉センターで講演会を開催せり。</p> <p>4月21日 村長選挙執行 佐藤治雄村長再選さる。</p> <p>5月2日 農林水産政務次官(衆議院議員)近藤元次先生ヘリコプターで来島、港湾、漁港、空港予定地を視察。</p> <p>随行者 田辺秘書官 水産庁漁港部 関口計画課長 構造改善局農政部 太田構造改善事業課長</p> <p>開発総合センターにおいて村議会議員、各団体長、村有志多数と懇談、村の要望を聞き、11時30分三宅島へ向け離島す。</p> <p>5月8日 花塚消防総監一行五名消防庁ヘリコプターで来島、島部巡視即日離島す。</p> <p>5月21日 国民健康保険直営診療所(保健センター併設)の落成式を執行。</p> <p>東京都衛生局及び福祉局より係官来島さる。</p> <p>5月27日 民官共用の空港を三宅島へ設置のため防衛施設局から甲斐施設部長以下三名来島、議員、漁民代表と話し合いをす。</p> <p>7月7日 都議会議員選挙投票が行われる。投票率 73.92%開票の結果 川島忠一氏初当選を果たす。</p> |

| | |
|--|---|
| | <p>7月28日 江戸家小猫一家来島天上山登山、この模様を都広報取材班取材、テレビ放映さる（東京都提供番組）。</p> <p>8月22日 荒川区青年ふれあい 航路一行、町田区長以下500名来島、二日間研修視察す。</p> <p>9月3日 津波を想定した避難誘導訓練を実施す。 東京都災害対策部応急対策課長、大島支庁長、消防庁ヘリコプターで来島、ヘリコプターによる救援訓練や、海上保安庁も参加し大がかりな訓練が実施された。 参加団体 消防団幹部、班長、議会議員、漁協、警察、婦人会、小、中、高校児童生徒。 漁船、渡船の沖合避難訓練も実施した。</p> <p>9月30日 保育園起工式を行う。</p> <p>10月7日 衆議院議員岡崎万寿秀先生来島、村議会議員と懇談島内視察す。</p> <p>10月18日 東京都建設局木村道路建設部長一行四名来島、都道改修箇所、空港アクセス道路等島内視察</p> |
|--|---|

| 西 暦 | 年 号 | 記 事 |
|-------|--------|--|
| 1,986 | 昭和 61年 | <p>3月24日 空港建設促進陳情のため議長以下関係者出発、村長と合流国土庁長官、運輸省、衆、参両院議員、都議会議員に陳情を行った。</p> <p>3月25日 長い間定期航路に就航していた「ふりいじあ丸」2,300t本日をもって廃船となるためお別れ会を多幸湾で行う。</p> <p>4月1日 「ふりいじあ丸」の代船「かめりあ丸」午後3時就航、接岸場において記念レセプション実施、一般公開す。 総トン数 3,761 t 全長約 102.87m 旅客定員 (沿海) 1,765人 船価20億円</p> <p>4月4日 園児の増加と老朽により改築を望まれていた保育園が新装なって完成創立二十周年を迎え、落成式と記念式典を併せ、来賓多数列席のもとに挙行された。 来 賓 参議院議員村上先生、都議会議員川島先生、 矢島大島支庁長、 村有志多数。 事業費 185,000千円 三井不動産建設と大洋建設との共同企業体で施行</p> <p>4月14日 長い年月都に対し陳情、要望を続けてきたが実現に至らなかった農業改良普及員の設置が五十嵐氏を迎え村費単独で常駐営農指導を実施できることとなった</p> |

| | | |
|--|--|---|
| | | <p>4月16日 国土庁地方振興局植苗離島振興課長一行2名来島港湾他島内施設を視察し、式根島へ渡る</p> <p>6月4日 神津島港西防波堤のケーソンヤード沈設さる。その大きさ日本最大と言う 縦25m 横30m 深さ15m</p> <p>6月11日 東京都財務局一の倉主計部長、米川予算第一課長、中島予算第三課長一行9名来島、各公共施設を視察。</p> <p>7月6日 衆、参両院議員同時選挙投票行われる。</p> <p>7月10日 自治省財政局柘植財政調査官来島、島内視察</p> <p>8月25日 午前9時20分、東京都港湾局木村離島港湾部長より電話あり、都営第三種神津島空港が運輸省の第五次空港整備計画に事業採択決定の発表があった旨連絡あり。 長い年月に亘る陳情運動ようやく実る。 NHKテレビでも神津島空港建設の事業採択の報道あり。</p> <p>8月26日 衆議院議員鈴木先生来島す。</p> <p>9月4日 都議会総務生活文化委員会一行28名ヘリコプターで来島、委員会を開会后、島内視察同日帰京す。</p> |
|--|--|---|

| 西 暦 | 年 号 | 記 事 |
|-----------------|-------|---|
| 1,986 前ページ続き | 昭和61年 | <p>10月16日 議長、副議長、空港整備促進委員長、自民党都連神津島支部員三名、空港建設予算獲得陳情のため上京、村長と共に17日、大蔵省、運輸省他関係機関に陳情を行う。</p> <p>10月28日 村長、議会代表、漁協、船主組合代表で港湾、漁港、空港の整備促進陳情を行う。</p> <p>11月15日 大島三原山噴火す。</p> <p>11月19日 国土庁、河出離島振興課長来島、港湾、漁港、空港建設用地他、離島振興事業を視察。</p> <p>11月21日 式根島開島百年記念式典に助役出席す。 同日十六時三十分頃より大島三原山大噴火せり、19時、東京都は災害対策本部を設置、全島民に避難命令が発令、東海汽船、自衛艦、保安庁巡視艇で全島民本土へ避難す。 12月25日より30日迄 神津島空港の予算(昭和六十二年度)要求が、大蔵省の一次査定で切られ、復活要求のため村長上京、参議院議員吉村先生、他関係機関へ陳情、ようやく28日予算復活の発表あり、関係者にお礼の挨拶回りをして31日帰島す。 あわただしい年末であったが空港建設もいよいよ昭和62年度から着工が決定的となり多年の悲願が実った</p> |

| | | |
|-------|-------|--|
| | | 歳の瀬であった。 |
| 1,987 | 同 62年 | <p>1月30日 運輸省航空局計画課係長来島、空港用地視察。</p> <p>3月15日 衆議院議員新井将敬先生、かめりあ丸にて来島、島内視察、開発センターにおいて講演会を開催、即日ヘリコプターで離島。</p> <p>3月27日 東京都港湾局、環境保全局一行来島、空港建設に関する説明会を開催す。</p> <p>4月12日 東京都知事選挙投票が行われる。 鈴木俊一 現知事当選 三選を果たす。</p> <p>4月26日 村議会議員選挙執行、新人を含む十名当選す。</p> <p>5月16日 都議会議員川島先生来島す。</p> <p>6月4日 全国離島振興協議会一行(全国の町村長)七十余名来島、港湾、漁港他、公共施設を視察。同日11時30分かめりあ丸で式根島へ渡る。</p> <p>6月9日 神津島空港環境影響評価審議会一行行政ヘリで来島、空港用地を視察、同ヘリにて帰京す。</p> <p>7月13日 神津高校中田教頭急性心不全により急逝</p> <p>7月22日 漁業資源増殖事業によりひらめ稚魚1,000匹さぬかに放流</p> |

| 西 暦 | 年 号 | 記 事 |
|-----------------|--------|---|
| 1,987 前ページ続き | 昭和 62年 | <p>7月30日 台風接近キャンパー開発センターへ避難(この年台風接近多し)</p> <p>10月25日 佐久市より市長他三十四名来島するも、村民運動会は、雨天ため延期となる。</p> <p>11月16日 大島三原山10時30分ごろ噴火とのニュースあり。</p> <p>11月17日 佐藤村長町村会事務で海外出張(オーストラリア方面)。</p> <p>11月26日 午後8時40分ごろ山下本館で火災発生、消火が早く、一部を焼いたのみで鎮火。</p> |
| 1,988 | 同 63年 | <p>1月8日 河合助役任期満了で退職、清水靖男氏新助役に就任 河合助役は、42年間の公務員生活にピリオド。</p> <p>1月23日 商工会設立五十周年を迎え、開発センターにて記念行事挙る。</p> <p>1月28日 都議会住宅港湾委員会一行26名警視庁ヘリコプターにて行政視察のため来島。</p> <p>1月30日 活性化対策計画による錫崎温泉掘さく工事起工式挙る。</p> <p>2月23日 神新汽船あじさい丸代替船アゼリア丸就航、船上にて記念パーティー挙る。</p> <p>2月28日 都営第三種空港神津島空港建設工事起工式挙る。</p> |

| | | |
|--|--|---|
| | | <p>3月3日 三浦漁港建設現場でクレーン車ワイヤー切断事故、作業員1名死亡す。</p> <p>3月15日 東電事務所前で、建設重機にバイク追突、運転者死亡す。若い青年の連続事故で、村民の痛恨計り知れず。</p> <p>3月20日 鏑崎温泉揚湯試験スタート、孔低温度（GLマイナス200m）80℃一日最大湯量1,000t温泉活用事業始動。</p> <p>4月4日 東京竹芝にて島じまんフェア開催、関係者多数上京。</p> <p>5月10日 少年サッカー、セルジオ＝カルロス講師招聘「さわやかサッカー教室」開催</p> <p>4月25日 栃木県田沼町長一行12名表敬訪島。</p> <p>5月4日 鏑崎温泉露天風呂大いに賑わう。</p> <p>5月21日 三宅島体協一行30名来島。本村体協と、スポーツ交流。</p> <p>5月22日 全日本バレーボール選手（日本鋼管）来島し、開発センターで実技講習。</p> <p>6月1日 国土庁より、離島振興事業調査官一行来島。本村診療所で初めて放射線技師を採用。</p> <p>7月15日 新島で栈橋より三名転落、行方不明となり新島の要請により消防団捜索応援</p> |
|--|--|---|

| 西 暦 | 年 号 | 記 事 |
|-----------------|-------|---|
| 1,988 前ページ続き | 昭和63年 | <p>7月17日 殺人事件発生、高校根岸事務長、夫人に刺殺される。</p> <p>7月19日 本田航空夏期シーズンに限り新島 神津間へり運行開始。</p> <p>7月21日 第二回臨時会で鏑崎海岸の温泉を「神津島温泉」と命名。</p> <p>7月27日 運輸省第二建設局長一行来島。</p> <p>10月6日 集中豪雨発生、雨量時間最大131^{mm}、一日最大433^{mm}、本村始まって以来の豪雨、本島北部地区を中心に被害甚大、阿波命神社壊滅、林道天上山線、宮塚線損壊、村道とりが沢線全壊、他被害総額推定11億円。</p> <p>10月8日 雨降り続き、急傾斜地付近住民に対して避難命令発令。</p> <p>10月12日 川島都議会議員他、都関係者、集中豪雨災害視察のため来島。</p> <p>10月17日 長浜神社（阿波命神社）復旧作業開始、奉仕労役約500人。</p> <p>10月23日 村民運動会集中豪雨災害のため中止となる。</p> <p>12月15日 小学校体育館危険改築工事完了、落成式挙行す。</p> <p>12月19日 温泉保養施設設計コンペ審査会開催。</p> <p>12月23日 おおり地区、ボヤ発生。</p> |

| | | |
|-------|-----------------|--|
| 1,989 | 昭和 64年 平成 元年 | <p>1月7日 昭和天皇崩御。 消防出初式中止となる。</p> <p>1月8日 昭和から平成へ改元去る。 昨年末から地震頻繁。</p> <p>4月16日 村長選挙実施、現職佐藤村長三選果たす。</p> <p>4月29日 万作丸釣客行方不明、消防団員出動捜索、5月5日午前遺体収容す。</p> <p>4月22日 島しょ振興公社設立説明会開催される。</p> <p>5月28日 第22回ジュリア祭举行される。</p> <p>6月2日 東京都防災会議火山部会調査実施。</p> <p>6月29日 面房方面の温泉掘削にかかる電気探査開始。</p> <p>7月28日 東京島しょシンポジウムが新島で開催、村議他20名参加。</p> <p>10月17日 神津高校橋本校長、心筋梗塞のため急逝。</p> <p>10月20日 前浜港建設作業クレーン船で死亡事故発生。都労働経済局長一行視察来島。</p> <p>10月31日 面房方面、温泉掘さく工事起工式举行。</p> <p>11月3日 漁業不振で禁漁区域のえび網解禁。</p> <p>11月17日 東海汽船(株)創立百周年を祝う。</p> <p>12月1日 東京都防災会議火山部会地質調査実施</p> <p>12月6日 焼山で山小屋火災発生、消火が早く大事に至らず</p> |
|-------|-----------------|--|

| 西 暦 | 年 号 | 記 事 |
|-------------|-------|--|
| 1,989 続き | 平成 元年 | <p>12月16日 多幸湾三浦漁港特目岸壁へ定期船かめりあ丸が始めて接岸、長いはしけ作業の歴史にピリオド。</p> |
| 1,990 | 同 2年 | <p>2月24日 上里地区で火災発生、物置消失しただけで鎮火。</p> <p>2月27日 島嶼会館会議室にて温泉保養センター建築工事入札実施、佐藤工業、大洋建設共同企業体が五億九千七百万円で落札。</p> <p>3月4日 商工会青年部創立10周年を迎え、開発センターにて記念式典举行される。</p> <p>3月9日 お観音沖沈没船遺跡の潜水調査実施、硯、播鉢、石臼等数点引上げられる。</p> <p>4月10日 温泉保養センター起工式举行される。</p> <p>4月12日 日本青年奉仕協会よりボランティアグループ60名ワークキャンプに来島、村内クリーン大作戦を行う。</p> <p>4月30日 土屋参議院議長来島、連休を楽しむ。</p> <p>5月14日 集中豪雨による土石流で被災した長浜神社の復旧上棟祭が举行される。</p> <p>5月28日 会計検査員による離島振興事業会計検査実施される。</p> <p>6月11日 ヒラメ増殖事業始まる。前浜、多幸沖等に稚魚</p> |

| | | |
|--|--|--|
| | | <p>9,500尾放流。</p> <p>6月 面房地区温泉掘削完了。深さ550m、温度27℃、毎分400リットル 事業費82,101千円。</p> <p>6月27日 お観音沖沈没船遺物のマスコミ取材合戦加熱す。</p> <p>7月27日 漁協の畜養池でヒラメの中間育成事業始まる。</p> <p>8月9日 風早地区で火災発生、消火作業迅速にて風呂場焼失のみで鎮火。</p> <p>8月10日 オオフキにて観光客海上に転落、台風11号のウネリ強く救助作業難航し死亡す。</p> <p>8月17日 朝日新聞社、松山沖の沈没船防長丸を取材、遺物数点引上げられる。</p> <p>8月20日 今夏の台風直撃頻度高く、なかでも19号台風の被害は甚大。村道14号線他の被害総額99,200千円。</p> <p>9月31日 台風19号の襲来により、村道14号線及び温泉施設に甚大な被害を受ける。</p> <p>11月3日 社協主催による第一回のチャリティバザーが福祉センターで開催される。</p> <p>11月12日 平成天皇即位礼挙行される。</p> <p>11月18日 民社党委員長大内啓伍氏視察来島。</p> |
|--|--|--|

| 西 暦 | 年 号 | 記 事 |
|-------|-------|--|
| 1,990 | 平成 2年 | <p>12月1日 三浦漁港棧橋より台風の高波で釣人転落、職員、消防団幹部出動し救助される。</p> <p>12月21日 二階運輸政務次官行政視察来島、空港建設現場視察。</p> |
| 1,991 | 同 3年 | <p>1月 婦人消防隊が発足。</p> <p>村道14号線（鏑崎）海岸道路を建設するためのトンネル工事着工（延長126m）</p> <p>5月24日 鏑崎に掘削した温泉を利用した施設「神津島温泉保養センター」が完成す。</p> <p>6月8日 土石流により災害を受けた阿波命神社の復元工事竣工。</p> <p>6月15日 都立神津高等学校創立二十周年並びに建設中の体育館が完成し、併せて記念式典が挙行される。</p> <p>11月 三浦漁港に建設中の特目岸壁が完成し、切願式典が行われる。</p> <p>村道菊若線開設工事着工。</p> |
| 1,992 | 同 4年 | <p>3月12日 鏑崎トンネル開通式を行う。</p> <p>3月 第七号井掘削完成（鉄砲場）。日量200tを確保。これにより多幸の湧水2ヶ所550tを含めて日量2,000t余りの水が確保されることとなった。</p> |

| | | |
|--|--|---|
| | | <p>7月2日 多年の念願であった都営神津島空港、着工以来4年の歳月を費やして漸く完成し、鈴木都知事、川島都議会議員、東京都関係者、調布市長（受入れ空港）等多数の来賓が招かれ盛大に開港式典、セレモニーが行われた。</p> <p>本空港の開港により島と本土との時間距離が50分（調布～神津島）に短縮されることになり、16人乗りと、9人乗りの飛行機が一日3便運行を開始した。</p> <p>7月4日 生きがい対策の一環として建設中のゲートボール場が完成。</p> <p>8月 既存ごみ焼却場の老朽化に伴う改築工事着工。</p> <p>8月31日 佐藤村長退職。</p> <p>9月17日 天上山麓より失火した山火事により西側山腹約24ヘクタールが焼ける。</p> <p>9月28日 代10代村長に山下繁氏当選就任。</p> <p>10月17日 地震発生震度4を記録。</p> <p>10月26日 村議会全員協議会が開催され、懸案中の特別養護老人ホーム建設予定地の調査を実施。その後も数回に亘り調査、協議の結果、沢尻地区錆崎トンネル手前の私有地（一部村有地）を選定す。</p> |
|--|--|---|

| 西 暦 | 年 号 | 記 事 |
|-------------|-------|---|
| 1,992 続き | 平成 4年 | <p>11月1日 休日法の改正に伴い官庁が土曜閉庁（週休二日制）となる。</p> <p>12月4日 村道とりが沢線赤崎トンネル竣工式挙行。</p> <p>12月5日 東海汽船新造船さるびあ丸2が試験航海のため来航（総トン数4,965t）百トン足らずの船で始まった東京・神津島間の定期船も五千トン級と大型化された。</p> <p>12月7日 臨時村議会において特別養護老人ホーム建設促進特別委員会が設立され、ホーム建設に向けて活動を開始。</p> <p>12月12日 特別養護老人ホーム建設促進及び社会福祉法人設立準備委員会が発足。</p> |
| 1,993 | 同 5年 | <p>5月 伊豆七島の神々が集まり水配りの会議を開いたと言われる神津島の神話伝説を永く伝えて行く為に、その水配りの像のモニュメントを作成、前浜海岸に設置</p> <p>6月9日 皇太子徳仁親王殿下ご成婚。</p> <p>6月26日 建設中の中学校体育館が落成し、落成式挙行。</p> <p>7月8日 警察官の増員等により増改築中の神津島南駐在所が完成。</p> <p>8月3日 昭和63年集中豪雨により被害を受けた阿波命神社の御庁屋、神橋等の復元工事を三ヶ年計画で再開。</p> |

| | | |
|-------|------|---|
| | | <p>10月6日 噴火を想定した大掛かりな防災・避難訓練を東京都・消防庁・自衛隊との合流で実施。</p> <p>10月 高齢者の生活の安全を確保（ひとり暮らし及び高齢者の夫婦世帯等）を目的として、「高齢者緊急システム（高齢者の家庭と役場を直結する特殊電話装置）を設置し、二十四時間態勢で対応、老人の生活安全管理に威力を発揮。</p> <p>11月20日 「神津島温泉」第二号掘削開始。</p> |
| 1,994 | 同 6年 | <p>1月28日 掘削中の「神津島温泉」第二号井完成。深度220m、湯量毎分369リットル。温度61℃。</p> <p>3月10日 島のシンボル（島の花、鳥、木、魚）を島民から募集、次のとおり選定し、村議会の承認を得て決定。 「島の花…コウゾエビネ。島の鳥…いそひよどり。島の木…榊（さかき）島の魚…カジキまぐろ」。</p> <p>3月11日 地震頻繁、最大震度4を記録、道路等崖崩れ多数発生。</p> |

| 西 暦 | 年 号 | 記 事 |
|-------------|-------|--|
| 1,994 続き | 平成 6年 | <p>3月24日 長野県佐久市に住む神津姓の人々と神津島が深い係わりがあることが判明して以来、その縁で佐久市との友好交流が続いていたが、正式に双方の友好都市盟約が佐久市において結ばれ、次いで、4月8日盟約締結披露祝賀会が神津島で盛大に行われた。</p> <p>5月15日 第25回ジュリア祭行われる。</p> <p>7月5日 建設中の清掃センター（焼却場）が完成、竣工式を現地において行う。</p> <p>7月21日 二十一世紀に向けて活躍される若者に対し、国際環境に対応できる人間育成を目的として中学生（二年生を対象）を海外語学研修のためホームステイの実施を決定。第一回生がカナダへ向け同日出発。（20日間の研修）</p> <p>7月24日 腎不全により島外の病院で透析治療を受けるため島で生活できない患者のために透析医療の導入を決定。 4月25日開始。（伊豆諸島では始めて導入）</p> <p>8月15日 終戦より49年目に当たり、戦没者、戦災死者の五十回忌合同慰霊祭執行。</p> <p>9月1日 特別養護老人ホーム新築工事起工式を執行。同施設の名称も公募により「やすらぎの里」と決定。</p> |

| | | |
|-------|------|--|
| | | <p>10月23日 東京消防学校主催、東京都町村消防操法大会に参加した神津島村消防団、小型ポンプの部で準優勝の成績を上げる。</p> <p>10月 敬老行事が行われるようになってより、本村老人の中に始めて百歳に達する高齢者が出たため、三月定例議会において百歳祝い金支給条例を提案可決され、該当者（土谷伊喜氏）に祝い金百万円が支給された。</p> |
| 1,995 | 同 7年 | <p>1月6日 地震発生 最大震度四をはじめ余震が続くも幸い被害なし。</p> <p>1月17日 淡路島を震源とする兵庫県南部に強烈な地震（震度7）発生。死者5千人以上家屋の被害15万戸と言う。関東大震災に次ぐ大災害に発展した。</p> <p>4月9日 鈴木都知事勇退に伴う知事選挙で青島幸男氏当選。</p> <p>5月31日 三浦漁港防波堤のケーソン沈設される。その大きさ縦30、横39.6m、深さ13.6m。離島の漁港防波堤ケーソンでは最大と言われる。更に7月5日にも一匳沈設される。</p> <p>8月 村史編纂委員会を設置、松本一氏を会長に専任。村史の編集作業を開始。</p> |

| 西 暦 | 年 号 | 記 事 |
|-------------|-------|---|
| 1,995 続き | 平成 7年 | <p>9月17日 台風12号接近、直撃は免れたものの島内各所で土砂崩れ、樹木が倒されたり、家屋一部損壊等被害あり。</p> <p>10月6日 午後9時過ぎ震度5の地震発生、その後も震度4～3の余震続く。各所で被害（土砂崩れによる道路の寸断）あり。 その後も余震が続くため危険地域（崩壊した与種山付近）の住民に避難勧告が発令される（三日間）。幸いにも家屋、人的被害は免れる。</p> <p>11月27日 復興工事中の阿波命神社御宇屋、神橋、御水屋の竣工祭行われる。</p> <p>12月 名組に計画中のドンタクハウス建設工事入札着工す。</p> |
| 1,996 | 同 8年 | <p>4月16日 平成6年9月に着工した特別養護老人ホーム「神津島やすらぎの里」が完成。 東京都福祉局長、川島都議会議員他多数の来賓を招き、落成記念式典並びに開所式を挙る。 本施設の概要 概 要 特別養護老人ホーム、高齢者在宅サービスセンター、在宅介護支援センター、高齢者福祉センター</p> |

| | | |
|--|--|--|
| | | 敷地面積 11,247.78㎡(約3,402坪) 延床面積 2,731.98㎡(約826坪) 構 造 鉄筋コンクリート造り 地上三階建 総事業費 約16億3千2百万円 収容居室 イ 特別養護老人ホーム(定員30名)12室 ロ ショートステイ(定員10名)3室 ハ 生活福祉センター(定員11名)10室 特 別 室 機械浴室、介護浴室、温泉浴室、露店温泉 浴室、機能回復訓練室、展望食堂、地域 交流室、介護教室、会議室等 設 備 全館冷暖房、居住区床暖房、エレベーター、 オゾン供給設備他 7月15日 やすらぎの里通所訓練施設が開所 概 要 木造平屋建 162.44㎡ 建 築 費 32,132,910円 内部施設 事務室、談話室、訓練室、作業室2室 内部設備 全自動大型脱水洗濯機2台、回転式乾燥機 2台 設備費 18,746,000円 |
|--|--|--|

| 西 暦 | 年 号 | 記 事 |
|-------------|-------|--|
| 1,996 続き | 平成 8年 | 9月23日 台風12号接近、大雨による道路等に被害を受ける。 総雨量 294mmに達し島内道路各所で土砂崩れがあり、 特に林道は数ヶ所に被害を受け、ごみ、し尿処理に支 障を来す。 同日 任期満了による村長選挙執行。山下村長再選さる。 10月7日 農業集落排水施設設計入札行われる。 本施設は、生活様式の高度化に伴い、衛生的な生活環 境を図るため、国と都からの補助金を得て9年度より 5ヶ年計画で集落排水施設(浄化施設)を設置しよう というもの。 11月21日 東京都青島知事来島行政視察。 |
| 1,997 | 同 9年 | 4月19日 神津島特別養護老人ホーム「やすらぎの里」が開設 一周年を迎え、記念行事を行う。 6月25日 三浦漁港防波堤建設の巨大ケーソンが沈設される。 7月5日 村立神津中学校が創立五十周年を迎え、盛大に記念 行事が行われた。 7月16日 村道とりが沢線で二本目(島内では三本目)のトン ネル「大黒根トンネル」(310m)が貫通し、現地で |

| | | |
|--|--|---|
| | | <p>貫通式が行われる。</p> <p>7月17日 シルバー人材センター発足の議が起こり準備委員会が発足す。</p> <p>7月24日 第4回カナダホームステイの中学生本日出発。(8月13日帰島)</p> <p>8月13日 カナダホームステイ現地でのコーディネーターのジャルバート女史が夫とカナダからの中学生一人を連れて神津島を訪問。前に世話になった中学生と再開を喜び、一緒に島を視察、17日離島。</p> <p>8月20日 西多摩郡奥多摩町の教育課長一行来島。本島住民の疎開地である奥多摩町から小学生が体験学習で来島するための実踏調査をする。</p> <p>8月25日 調布市長一行来島。</p> <p>9月2日 火災発生、懸命な消火活動するも老婆が一人焼死す。</p> <p>9月3日 与種地区整備調査委員会開催される。本件は与種山を切り崩して造成し小学校の敷地としようとするもので、地主との交渉に入る。</p> <p>9月11日 敬老会が福祉センターで行われる。</p> <p>9月26日 遭難船の報あり、恩馳島に下田市の漁船大師丸(乗組員一名)坐礁するも乗組員は無事救助される。</p> <p>9月29日 シルバー人材センター設立総会開催、未認可なれど本村にもシルバー人材センターが発足す。</p> |
|--|--|---|

| 西 暦 | 年 号 | 記 事 |
|-------------|-------|---|
| 1,997 続き | 平成 9年 | <p>10月23日 第26回村民大運動会開催</p> <p>11月2日 商工会創立三十周年にあたり記念式典が開催される。</p> <p>11月3日 第5回産業祭が開催され、友好都市長野県佐久市からも物産を持ち込み参加され盛況であった。</p> <p>11月11日 檜垣副知事本島視察のため来島。</p> <p>11月13日 農業集落排水工事(下水道)安全祈願祭が行われ、着工する。</p> |
| 1,998 | 同 10年 | <p>1月13日 東京都町村助役会が本村において開催される。</p> <p>1月24日 サッカーチーム横浜フリーゲルス一行が来島し、サッカー教室を開催。</p> <p>1月26日 大島支庁管内町村長サミットが神津島にて開催される。</p> <p>3月 昭和48年より開局した自主放送「神津島村CATV」は開局当時「モノクロ」から4年後にカラー化、その後幾度か改善され、漸くデジタル化が実施される運びとなり、通常放送時間以外でも文字放送による情報提供放送も開始する事となった。</p> |

| | | |
|--|--|---|
| | | <p>3月 平成7年8月より編集作業を進めていた神津島村史が漸く完成、3月31日付で発行となり、翌月より関係者等への配布を開始す。</p> <p>4月18日 サッカーチーム柏レイソル来島。島の子供達（神津FC）にサッカー教室開催。</p> <p>5月6日 群馬県小野上村より村長一行が来島視察。本村と友好を深める。</p> <p>6月3日 予て東京都が多幸湾公園に建設中だったファミリーキャンプ場が完成し、開園式が行われる。本施設は恒久的なテントサイト十張（有料）、管理棟、炊事舎、集会用の建物、フリーテント場（無料）等。開園後は都が村に管理を委託して運営することとなった。</p> <p>7月12日 参議院議員選挙投票行われる。</p> <p>7月25日 第5回カナダホームステイの中学生出発（8月12日帰島）</p> <p>8月18日 奥多摩町の小学生来島、島の生活を体験。</p> <p>9月1日 地震を想定した防災訓練を実施小・中・高校生他一般村民800名参加</p> <p>9月16日 台風五号接近により公共施設、農業施設等に小規模の被害あり。</p> |
|--|--|---|

| 西 暦 | 年 号 | 記 事 |
|-------------|--------|--|
| 1,998 続き | 平成 10年 | <p>9月28日 大黒根トンネル出口付近に崩落があり、今後の延長工事継続に支障あり。</p> <p>9月30日 長野県佐久市議会議員一行視察のため来島。</p> <p>10月2日 返浜付近の海岸に身元不明死体漂着発見される。</p> <p>10月3日 TV番組（TV朝日）「炎のチャレンジャー」の収録、村内から畳1,000枚集めたら200万円と言う事で小・中学生・一般により中学校校庭に1,000枚の畳を集めて敷き詰め200万円を獲得。この金は学校等へ配分された。</p> <p>10月18日 第27回村民大運動会開催。</p> <p>11月28日 群馬県小野上村村長他一行来島。</p> |
| 1,999 | 同 11年 | <p>1月9日 第43回成人式開催 38名の成人者参加。</p> <p>3月14日 地震発生（震度5弱）村内各所で落石、土砂崩壊あり。人的被害なし。</p> <p>3月21日 千両池付近（二十七）の磯にて釣り客二人落下死亡事故発生。</p> <p>3月28日 深夜地震発生（震度四）温泉施設の先の崖より落石あり、更に崩落の危険があるため同所より「めいし」</p> |

| | | |
|--|--|--|
| | | <p>方面への通行を一時通行止めとする。</p> <p>4月11日 東京都知事選挙投票行われる。石原慎太郎氏当選</p> <p>4月21日 地震多発（震度1程度）</p> <p>4月25日 村議会議員選挙投票行われる。</p> <p>5月16日 第30回ジュリア祭開催される。</p> <p>7月23日 多摩市の小・中学生来島、多幸キャンプ場にてキャンプ</p> <p>7月24日 第6回中学生カナダホームステイ出発（8月11日帰島）</p> <p>8月2日 物忌奈命神社礼大祭に行われる神事かつお釣りの行事を調査のため文化庁から調査官が来島、行事の様子をつぶさに調査視察される。</p> <p>8月 元神津小学校教諭（昭和32～38年）だった故鈴木光志先生が、在島当時から民族関係の研究や資料を収集され、転勤後も退職されるまで伊豆諸島を始め日本各地の民族関係の調査及び書籍、資料を収集されたものが数千冊も遺してある事がわかり、これを本村へ譲り受けるべく折衝した結果、夫人から承諾を受けて約五千冊の書籍、資料を譲り受けることとなった。</p> <p>8月17日 奥多摩町小学生来島、本村の小学生とも交流。</p> <p>9月18日 島嶼青年大会が神津島において開催される。</p> |
|--|--|--|

| 西 暦 | 年 号 | 記 事 |
|-------|--------|--|
| 1,999 | 平成 11年 | <p>9月26日 ジュリア祭の第30回を記念して韓国巡礼訪問の旅一行出発。</p> <p>10月 平成12年4月より施行される介護保険制度導入に伴い、多数のホームヘルパーが必要となるため、一般から三級ホームヘルパー養成のための研修受講者の募集を行い、応募者の研修が始まる。</p> <p>10月21日 警視庁警視総監が管内視察のため来島。</p> <p>10月24日 第28回村民大運動会開催。</p> <p>10月30日 ライフセービング大会が始めて本島にて開催さる。</p> <p>11月20日 フォークロアフェスティバル（鈴木光志文庫古書を中心とした、島の産物黒耀石を核に体験工房、コンサート等とおして地域固有の魅力を高めると共に新世紀を拓く原動力の増進に資するもの）開催。</p> <p>12月21日 昭和33年に都の無形文化財として指定を受けていた物忌奈命神社の神事かつお釣りが、国の重要無形民族文化財として文部大臣より指定を受ける。</p> |
| 2,000 | 同 12年 | <p>1月8日 第44回成人式開催35名の成人者が参加</p> <p>1月19日 国の重要無形民族文化財として文部大臣の指定を受</p> |

| | | |
|--|--|---|
| | | <p>けていた「神事纏つり行事」の指定書交付式が都内で 行われる。</p> <p>1月23日 新春少年柔剣道大会開催さる。</p> <p>1月24日 金長運動公園地鎮祭を執り行なう。</p> <p>3月15日 新中央航空ドルニエ機就航記念式典が調布飛機場で 開催され、山下村長、石野田議長出席す。</p> <p>5月20日 第31回ジュリア祭が開催される。</p> <p>6月25日 衆議院議員選挙行われる。</p> <p>7月1日 午後4時02分マグニチュード6.1（震度6弱） の地震発生。</p> <p>この地震によって、神津島は村の歴史始まって以来 の大きな災害を受けた。ライフライン施設はもとより 公共施設、民家等の生活基盤施設や道路、港湾等の産 業基盤施設が被った被害は甚大なり。</p> <p>午後4時15分村内放送にて職員一斉招集、同時に消 防団員を招集。</p> <p>午後4時20分山下村長を本部長とする災害対策本部 を設置する。</p> <p>午後4時35分東京都を經由し、自衛隊に対し救 援要請を行う。</p> <p>午後5時20分「村重宝文化財物忌奈命神社」本殿の 倒壊を確認せり。以降震度3以上の地震多発する。</p> |
|--|--|---|

| 西 暦 | 年 号 | 記 事 |
|-------------|--------|---|
| 2,000 続き | 平成 12年 | <p>7月13日 特養ホームへの車両でのアクセスが完全に途絶えた ため、食料等の輸送を海上開始する。</p> <p>7月22日 中2年カナダホームステイ出発す。</p> <p>8月8日 青梅市や御岳山観光協会、東海汽船などのご厚意に より、地震で被害を受けた神津島の子どもたちを癒す ため、御岳山ハイキングに招待してくれることになり、 本日土谷教育長などが引率し、58名の小学生が御岳へ と出発した。</p> <p>8月19日 東京都青山副知事一行地震被害の視察に来島。</p> <p>9月2日 東京都石原知事、濱渦副知事一行災害視察来島。</p> <p>9月14日 森 喜朗内閣総理大臣らの一行がヘリで来島するも 悪天候のため、横道から災害状況を視察した後離島す る。</p> <p>9月24日 神津島村長選挙並びに村議会議員補欠選挙が執 行さる。村長に清水民也氏が初当選、また、村議 会議員に石田隆美智氏が当選された。</p> <p>9月27日 清水民也村長初登庁。</p> <p>11月3日 神津中学校弁論・音楽発表会開催。</p> |

| | | |
|-------|--------|---|
| 2,001 | 平成 13年 | <p>1月13日 第45回成人式開催。</p> <p>1月16日 恒例の消防出初式挙行。</p> <p>2月 8日 石野田助役本日就任。</p> <p>7月 1日 鈴木国忠教育長就任</p> <p>7月26日 天皇皇后両陛下下行幸啓。</p> <p>9月28日 新火葬場完成す。</p> <p>10月13日 東京都立神津高等学校創立30周年記念式典が大勢の 所縁あるお客様をお招きして盛大に開催される。</p> <p>11月4日 特別養護老人ホーム「やすらぎの里まつり」 開催</p> |
| 2,002 | 同 14年 | <p>1月12日 第46回成人式開催。</p> <p>1月16日 恒例の消防出初式挙行するも、雨天のため開発総合 センターで挙行された。</p> <p>4月1日 東海汽船高速船本日より就航。就航セレモニーなど 行われる。東京～神津島間3時間30分で就航する。</p> <p>6月19日 日本赤十字社献血実施。</p> <p>6月29日 地震災害以来不通となっていた都道224号線の「あ かばね洞門」が完成し、国土交通省、東京都よりお客 様をお招きし竣工式が行われ、3年ぶりの開通をお祝 いした。</p> |

| 西 暦 | 年 号 | 記 事 |
|-------------|--------|--|
| 2,002 続き | 平成 14年 | <p>7月15日 地震の被害を受けた福祉センターに変わる施設とし て建設する「生きがい健康センター」の地鎮祭が行わ れる。</p> <p>9月2日 地震災害を想定した総合防災訓練を実施。</p> <p>10月1日 台風21号の強風を受け村重宝文化財物忌奈命神社第 一鳥居（大六殿）倒壊す。</p> <p>10月14日 村重宝文化財物忌奈命神社御庁屋改築工事に係る地 鎮祭執行す。</p> |
| 2,003 | 平成 15年 | <p>4月10日 生きがい健康センター落成式挙行。東京都から、福 永正通副知事、川島忠一都議会議員をはじめ、福祉局 福祉部長等多数のご来賓がご出席し盛大に執り行なわ れる。</p> <p>4月13日 東京都知事選挙投票行われる。石原慎太郎氏二期目 の当選を果たす。</p> <p>4月27日 村議会議員選挙投票日も、立候補者定数のため無投 票当選となる。</p> <p>9月1日 大地震を想定した防災訓練実施、会場小学校（参</p> |

| | | |
|-------|--------|---|
| | | 加者630名) 11月1日 中学校恒例の弁論・音楽発表会開催す。 |
| 2,004 | 平成 16年 | 1月21日 地震災害を受けた、村重宝文化財物忌奈命神社本殿復原工事に係る地鎮祭を執り行なう。 5月29日 島じまん2004が本日と明日の2日間東京竹芝の広場で盛大に開催される。 9月19日 神津島村長選挙投票日なるも、立候補者一人のため梅田善之氏無投票による初当選を果たす。 9月20日 村長当選証書授与式が役場2階、会議室で行われる。 11月13日 都立神津高校第33回黒潮祭実施す。 12月5日 発達中の低気圧の影響により当地方は最大風速40mを観測する猛烈の強風によりビニールハウスや農作物などに大きな被害を齎す。 |
| 2,005 | 平成 17年 | 1月16日 平成17年消防出初式挙げるも、昨日からの雨により、開発総合センターで執り行った。 4月16日 予定建設中の大島支庁神津島出張所庁舎が完成し、本日竣工式が行われた。 7月3日 東京都議会議員選挙が行われる。島嶼地区川島忠一氏当選果たす。 8月25日 台風11号の接近に伴い、第二次非常配備体制をひく。最大瞬間風速42mを記録する。 |

| 西 暦 | 年 号 | 記 事 |
|-------------|--------|--|
| 2,005 続き | 平成 17年 | 8月25日 衆議院議員選挙行われる。 10月7日 東京都と合同による津波を想定した総合防災訓練を実施す。 |
| 2,006 | 同 18年 | 1月18日 午後4時12分、ありま付近で山火事発生 of 通報あり消防団出動するも大事に至らず、午後5時過ぎ鎮火する。 2月20日 出張中の梅田村長体調を崩し、都内墨東病院に検査入院する。 4月17日 大島支庁より支庁長はじめ幹部職員が来島し、平成18年度大島支庁関係の事業説明会を開催する。 4月23日 特別養護老人ホーム「やすらぎの里」開所10周年記念式典を執り行なう。 4月24日 先の地震災害により倒壊した、村重宝文化財「物忌奈命神社」の復原工事が完了し、竣工奉告祭が執り行なわれた。 6月3日 島民各位に協力を求め、村内クリーン作戦一斉清掃 |

| | | |
|--|--|---|
| | | <p>実施。</p> <p>8月1日 物忌奈命神社例大祭、今年は本殿の復興をお祝いし、大人神輿が村内を渡御し大いに祭りを盛り上げた。</p> <p>8月2日 日本を代表する豪華客船飛鳥II寄航す。また、夜は「渚の花火大会」で賑わいを見せた。</p> <p>8月8日 台風7号の接近に伴い強い風と大雨のためキャンパー108名を開発総合センターに収容す。</p> <p>8月13日 石野田助役、清水議長は、都内の病院に入院中の梅田村長を見舞うた上京するも、午後9時18分村長逝去す。</p> <p>8月20日 故梅田善之村長の村葬を執り行なう。島外から東京都をはじめ多くの各関係機関の弔問をいただいた。</p> <p>10月1日 神津島村長選挙投票日なるも、石野田富弘氏無投票で当選を果たす。</p> <p>10月2日 石野田村長当選証書付与式。</p> <p>10月8日 神津島船籍「明好丸」が早朝下田港から神津島に向け航行中高波を受け転覆、船長を含む15名中8名が救助され、2名死亡、5名行方不明の事故が発生。神津島消防団や、下田須崎、新島式根島、地元の漁船など50隻余が1週間余搜索するも依然手掛り無く搜索を打切る。</p> <p>10月10日 鈴木国忠助役就任 清水正美教育長就任</p> <p>12月27日 昨夜からの大雨により、田の沢地区基盤整備促進事業現場の被害甚大なり、災害査定を受ける準備を進</p> |
|--|--|---|

| 西 暦 | 年 号 | 記 事 |
|-------|--------|--|
| 2,007 | 平成 19年 | <p>1月 3日 第51回成人式。</p> <p>2月11日 ふるさと文化展開催。</p> <p>2月24日 第6回福祉祭り開催。</p> <p>4月 8日 東京都知事選挙投票日 石原慎太郎氏三期目の当選を果たす。</p> <p>4月22日 神津島村議会議員選挙行われる。</p> <p>5月19日 第38回ジュリア祭開催。</p> <p>5月25日 観光活性化戦略実績報告会開催。</p> <p>6月 3日 第10回やすらぎの里まつり。</p> <p>7月29日 参議院議員選挙。</p> <p>8月 1日 物忌奈命神社例大祭一日目。</p> <p>8月 2日 物忌奈命神社例大祭二日目。 神事かつお釣り。</p> <p>10月21日 第35回村民大運動会開催。</p> <p>11月10日 ビーチバレーボール神津島大会開催。</p> |
| 2,008 | 平成 20年 | <p>1月 3日 第52回成人式。</p> <p>1月16日 消防出初式挙行。</p> <p>2月11日 神津島村表彰式</p> |

| | | |
|-------|-------|---|
| 2,008 | 平成20年 | <p>2月24日 第6回福祉祭り開催。</p> <p>3月5日 農業シンポジウム開催。</p> <p>3月24日 自然保護審議会。</p> <p>4月1日 子供家庭支援センター開設。</p> <p>4月17日 船客待合所「まっちゃんれセンター」竣工落成式が挙行される。</p> <p>5月4日 第2回サーフィン大会。(返浜にて)</p> <p>5月15日 都議会民主党島しょ調査部会一行(14名)来島。</p> <p>5月17日 第39回ジュリア祭開催。</p> <p>5月31日 竹芝で「島じまん2008」開催。</p> <p>7月25日 愛らんどリーグサッカー大会開催。(優勝小笠原)</p> <p>8月1日 物忌奈命神社例大祭一日目。</p> <p>8月2日 物忌奈命神社例大祭二日目。神事かつお釣り。大型船「飛鳥II寄港」。渚の花火大会「ミュージックダイブ2008」。</p> <p>8月9日 「アイランドカップ2008」サッカー大会開催。</p> <p>8月16日 千両池付近で火災発生。消防団出動。ヘリ消化開始。20時17分鎮火の放送あり。付近の火災のみ。</p> <p>9月2日 農業委員会島しょ神津島大会開催。</p> <p>10月3日 神津島村防災訓練実施。参加者501名会場小学校。</p> <p>11月8日 ビーチバレーボール大会開催。雨で寒い日であった。</p> |
| 2009 | 平成21年 | <p>1月3日 第53回成人式。</p> <p>1月16日 消防出初式挙行。</p> <p>2月11日 神津島村表彰式。</p> <p>3月27日 TVチャンピオン撮影。(赤崎遊歩道)</p> <p>3月31日 22時都庁防災部より「北朝鮮飛翔体発射事案に係る対応について」連絡あり。</p> <p>4月11日 第33回えびね展開催。</p> <p>5月16日 第40回ジュリア祭開催。</p> <p>6月17日 下田市経済交流会一行来島269名日帰り。</p> <p>7月4日 ビーチバレーボール神津島大会開催。</p> <p>7月12日 都議会議員選挙投票日。</p> <p>8月1日 物忌奈命神社例大祭一日目。</p> <p>8月2日 物忌奈命神社例大祭二日目。神事かつお釣り。飛鳥II寄港。渚の花火大会。</p> <p>8月30日 衆議院議員選挙投票日。民主党308議席、自民党119議席。</p> <p>9月16日 郷土資料館新館開所式。</p> <p>11月23日 商工産業祭り開催(佐久市一行商工産業祭り参加)。</p> |
| 2010 | 平成22年 | <p>1月3日 第54回成人式。</p> <p>1月16日 消防出初式。</p> <p>2月11日 神津島村表彰式。</p> <p>3月6日 第13回ふるさと文化展開催。</p> <p>4月10日 第34回えびね展開催。</p> |

| | | |
|------|-------|---|
| 2010 | 平成22年 | <p>5月 8日 第41回ジュリア祭開催。</p> <p>7月 3日 ビーチバレーボール神津島大会開催。</p> <p>7月11日 参議院議員選挙投票日。</p> <p>8月 1日 物忌奈命神社例大祭一日目。大人神輿も出る。(一日目だけ)</p> <p>8月 2日 物忌奈命神社例大祭二日目。神事かつお釣り。飛鳥Ⅱ寄港。渚の花火大会。</p> <p>8月 9日 愛らんどリーグサッカー大会。(優勝神津島)</p> <p>8月17日 みどり体験交流事業一行来島。(東京都の小学生54名引率7名)</p> <p>10月12日 新浜川副村長辞令交付。</p> <p>11月23日 商工産業祭り開催。</p> |
| 2011 | 平成23年 | <p>1月 3日 第55回成人式。</p> <p>1月16日 消防出初式。</p> <p>2月11日 神津島村表彰式。</p> <p>3月 5日 第14回ふるさと文化展開催。</p> <p>3月11日 14時55分東日本大地震。(M8.8)神津島震度4。神津島大津波警報発令。</p> <p>4月10日 東京都知事選挙投票日。石原慎太郎氏当選四期目。</p> <p>4月16日 第35回えびね展開催。</p> <p>4月24日 村議会議員選挙投票日。</p> <p>5月14日 第42回ジュリア祭開催。</p> <p>5月23日 島しょ教育委員会協議会神津島大会。</p> <p>7月16日 ビーチバレーボール神津島大会開催。</p> <p>7月20日 台風6号接近中のため、よっちゃーれセンター閉館、村営バス運休、資料館閉館、焼却場、破砕上、処分場、温泉センターくりあげ閉館。職員自宅待機。</p> <p>8月 1日 物忌奈命神社例大祭一日目。</p> <p>8月 2日 物忌奈命神社例大祭二日目。神事かつお釣り。渚の花火大会。</p> <p>8月 7日 愛らんどリーグサッカー大会。</p> <p>11月23日 商工産業祭り開催。</p> |
| 2012 | 平成24年 | <p>1月 3日 第56回成人式。</p> <p>1月16日 消防出初式。</p> <p>2月11日 神津島村表彰式。</p> <p>2月26日 第15回ふるさと文化展開催。</p> <p>3月22日 16時50分温泉裏山火災発生。消防団出動。18時46分鎮火。</p> <p>4月13日 第36回えびね展開催。</p> <p>6月 9日 第43回ジュリア祭開催。</p> <p>7月14日 ビーチバレーボール神津島大会。(リハーサル)</p> <p>8月 1日 物忌奈命神社例大祭一日目。</p> <p>8月 2日 物忌奈命神社例大祭二日目。神事かつお釣り。飛鳥Ⅱ寄港。渚の花火大会。</p> <p>9月 1日 第1回神津島アクアスロン大会。</p> <p>10月 1日 石野田博文教育長就任。</p> <p>10月18日 神津島村図書館開館式。</p> <p>10月20日 第40回村民大運動会開催。</p> |

| | | |
|------|-------|---|
| 2012 | 平成24年 | <p>11月1日 東京都・神津島村合同総合防災訓練。猪瀬副知事来島。</p> <p>11月23日 商工産業祭り開催。佐久市議長一行来島。</p> <p>12月16日 東京都知事選挙並びに衆議院議員選挙。舛添要一氏都知事当選。</p> |
| 2013 | 平成25年 | <p>1月3日 第57回成人式。</p> <p>1月16日 消防出初式。</p> <p>2月4日 「しま小屋」開設。</p> <p>2月11日 神津島村表彰式。</p> <p>4月13日 第37回えびね展開催。</p> <p>5月25日 第44回ジュリア祭開催。</p> <p>6月23日 東京都議会議員選挙投票日。</p> <p>6月29日 第2回神津島アクアスロン大会。</p> <p>7月21日 参議院議員選挙投票日。</p> <p>8月1日 物忌奈命神社例大祭一日目。</p> <p>8月2日 物忌奈命神社例大祭二日目。高校生神輿も出る。神事かつお釣り。渚の花火大会。飛鳥Ⅱは波高く寄港せず。</p> <p>9月13日 スポーツ祭東京2013ビーチバレーボール大会開催。台風18号接近により14日で終了。決勝戦は、白熱した試合になり村民も東京都の代表に大きな声援を送っていた。途中、疲労で倒れながらも東京都の代表が優勝する。</p> <p>10月5日 スポーツ祭東京第68回国民体育大会デモスポレーションとしての行事。ソフトバレーボール競技会実施。</p> <p>10月19日 第41回村民大運動会開催。</p> <p>11月23日 商工産業祭り開催。佐久市議長一行来島。</p> |
| 2014 | 平成26年 | <p>1月3日 第58回成人式。</p> <p>1月16日 消防出初式。</p> <p>2月11日 神津島村表彰式。</p> <p>3月1日 第16回ふるさと文化展開催。</p> <p>4月12日 第38回えびね展開催。</p> <p>5月17日 第45回ジュリア祭開催。高校生も神津大漁節（女子）・神事かつお釣り（男子）の出し物で盛り上げていた。</p> <p>6月19日 奥多摩議員一行来島。</p> <p>8月1日 物忌奈命神社例大祭一日目。高校生神輿も出る。</p> <p>8月2日 物忌奈命神社例大祭二日目。神事かつお釣り。渚の花火大会。飛鳥Ⅱは、今年も波高く寄港せず。</p> <p>8月6日 愛らんどリーグサッカー大会。（新島大会 神津FC優勝）</p> <p>8月30日 第3回神津島アクアスロン大会。神津島からも15名参加。会を重ねるごとに盛況になってきている。</p> <p>9月20日 神津善行・中村メイコ夫妻小学校道徳地区公開講座にて来島し、「美しくたくましく」の演題で、講演会を行う。</p> <p>9月21日 神津島村長選挙投票日。</p> <p>10月1日 浜川謙夫村長就任。</p> <p>10月5日 11時25分台風18号の影響により避難勧告発令。</p> <p>10月8日 中村勝二副村長就任。</p> |

| | | |
|------|-------|--|
| | | <p>10月18日 第42回村民運動会開催。</p> <p>11月23日 商工産業祭り開催。佐久市議長一行来島。</p> |
| 2015 | 平成27年 | <p>1月 3日 第59回成人式。</p> <p>1月16日 消防出初式。</p> <p>2月11日 神津島村表彰式</p> <p>3月26日 埼玉三市（戸田市・蕨市・川口市）小学校卒業生340名程来島。</p> <p>4月11日 第39回えびね展開催。</p> <p>4月20日 第1回総合教育会議（村長・教育長・教育委員）新教育委員会制度。</p> <p>5月 8日 清瀬市石田波郷俳句大会出前授業、3名の講師（小中学生対象）。</p> <p>5月10日 石野田博文教育長講演会「子育てのつぼ」85名程参加。</p> <p>5月16日 第46回ジュリア祭開催。高校生も神津大漁節（女子）神事かつお釣り（男子）で盛り上げていた。</p> <p>8月 1日 物忌奈命神社例大祭一日目。高校生神輿も出る。</p> <p>8月 2日 物忌奈命神社例大祭二日目。神事かつお釣り。渚の花火大会。</p> <p>8月 6日 愛らんどリーグサッカー大会（神津島大会大島優勝、神津FC3位）。</p> <p>8月15日 本土の中学生神津島体験ショートステイ。</p> <p>11月12日 熊野太地浦捕鯨船遭難記の北洋一氏一行来島。明治11年12月の遭難で、祖父が神津島の村民に助けてもらったお礼と調査。</p> <p>11月23日 商工産業祭り。佐久市一行来島。</p> |
| 2016 | 平成28年 | <p>1月 3日 第60回成人式。</p> <p>1月16日 消防出初式。</p> <p>2月11日 神津島村表彰式。</p> <p>2月16日 瀬古俊彦マラソン教室。</p> <p>4月 1日 神津島村放課後学童クラブ開始。</p> <p>4月 6日 離島留学生（1名）神津高校入学。ホストファミリー1件受け入れ。</p> <p>4月24日 天上橋開通式典。</p> <p>5月14日 第47回ジュリア祭開催。</p> <p>7月10日 参議院議員選挙。</p> <p>7月23日 本土の中学生神津島体験ショートステイ。</p> <p>7月27日 愛ランドリーグサッカー大会。（大島大会 神津FC優勝）</p> <p>8月 1日 物忌奈神社例大祭一日目。</p> <p>8月 2日 物忌奈神社例大祭二日目。神事かつお釣り。渚の花火大会。</p> <p>8月 2日 東京都知事選挙。小池百合子新知事就任。</p> <p>8月27日 第5回神津島アクアスロン大会。</p> <p>11月19日 第2回オーシャンカップソフトバレーボール大会。（岩本杯）</p> <p>11月23日 商工産業祭り開催。</p> |

| | | |
|------|-------|---|
| 2017 | 平成29年 | <p>1月 3日 第61回成人式。</p> <p>1月16日 消防出初式。</p> <p>2月11日 神津島村表彰式。</p> <p>2月13日 金哲彦ランニング教室。</p> <p>4月 6日 離島留学生（3名）神津高校入学。ホストファミリー受け入れ。</p> <p>4月26日 清瀬市石田波郷俳句大会出前授業、2名の講師。（小中学生対象）</p> <p>5月19日 総合教育会議。（村長・教育長・教育委員）</p> <p>8月 1日 物忌奈神社例大祭一日目。</p> <p>8月 2日 物忌奈神社例大祭二日目。神事かつお釣り。渚の花火大会。</p> <p>8月 7日 奥多摩町平和展に参加。（終戦近く、神津島の村民が奥多摩町に疎開した当時のことや生活の様子を音声で流す）</p> <p>8月26日 第6回アクアスロン大会。</p> <p>10月21日 台風21号の接近により村民運動会中止。</p> <p>10月29日 奥多摩町と友好交流締結</p> <p>11月23日 商工産業祭り開催。奥多摩町友好交流締結の祝賀会。</p> <p>12月12日 神津中学校夜間照明供用開始。</p> |
| 2018 | 平成30年 | <p>1月 3日 第62回成人式。</p> <p>1月16日 消防出初式。</p> <p>2月 5日 小池百合子東京都知事来島。離島留学生との交流。 離島留学の「しらすな寮」内覧会。</p> <p>2月11日 神津島村表彰式。</p> <p>2月16日 神津中学校・人権教育推進校研究発表会。</p> <p>2月17日 離島留学生男子3名、ホストファミリー宅から学生寮へ入寮。</p> <p>3月14日 鈴木寛ゼミの東京大学・慶応大学・早稲田大学の学生が神津高校生と神津島の活性化に向けて話合いの結果を発表する。</p> <p>4月 6日 離島留学生（4名）神津高校入学。佐久市から元高等学校の校長先生である高見澤正彦氏が神津高等学校の数学の学習支援員として入る。</p> <p>4月17日 総合教育会議（村長・教育長・教育委員）</p> <p>5月22日 金哲彦ランニング教室。</p> <p>6月 2日 日本を美しくする会・東京掃除に学ぶ会が来島する。神津中学校のトイレを掃除する。中学生や地元の人も参加。</p> <p>6月12日 小学校3・5年生タブレットを使用して授業を開始。</p> <p>7月21日 本土の中学生・神津島体験ショートステイ。</p> <p>8月 1日 物忌奈神社例大祭一日目。</p> <p>8月 2日 物忌奈神社例大祭二日目。神事かつお釣り。</p> <p>9月 1日 第7回アクアスロン大会。</p> <p>9月22日 神津島村長選挙。</p> <p>10月 1日 前田弘村長就任。</p> <p>10月10日 桜井隆明副村長就任。</p> <p>11月17日 第4回オーシャンカップソフトバレーボール大会。（岩本杯） 神津島のバレーボールの活性化のために尽力された岩本洋先生が5月に逝去された。岩本先生のためにもこの大会を続けていきたい。</p> <p>11月23日 商工産業祭り開催。</p> |